

第1章 市 勢

1	位置・面積	2
2	地勢と地質	4
3	気 候	5
4	人 口	6

1 位置・面積

沖縄県は、北緯 24～27 度、東経 122～131 度の南北約 400km、東西約 1,000km の海上に弧をえがいて連なる 160 の島々（面積が 0.01 km²以上の島）が点在する島しょ県です。

その中で、那覇市は最大の島「沖縄島」の南部に位置し、東西約 11.2 km（東経 127° 37′ 50″ ～127° 44′ 19″）、南北約 8 km（北緯 26° 10′ 35″ ～26° 14′ 46″）で市域の北側では浦添市、東側では西原町、南側では豊見城市、南風原町と接しています。西側には東シナ海が広がっています。

資料 沖縄県「沖縄の統計」

「第 62 回令和 4 年度版那覇市統計書」(1. 位置、広ぼう及び高低)

本市は鹿児島と台北のほぼ中間にあり、那覇市を中心とする 2,000km の円周域には、東京、ピョンヤン、上海、香港、ソウル、北京、マニラなどの主要都市があり、交通通信機能の上からも東南アジアの各都市を結ぶ要衝の地点であり、わが国の南玄関として地理的に好条件の位置にあります。

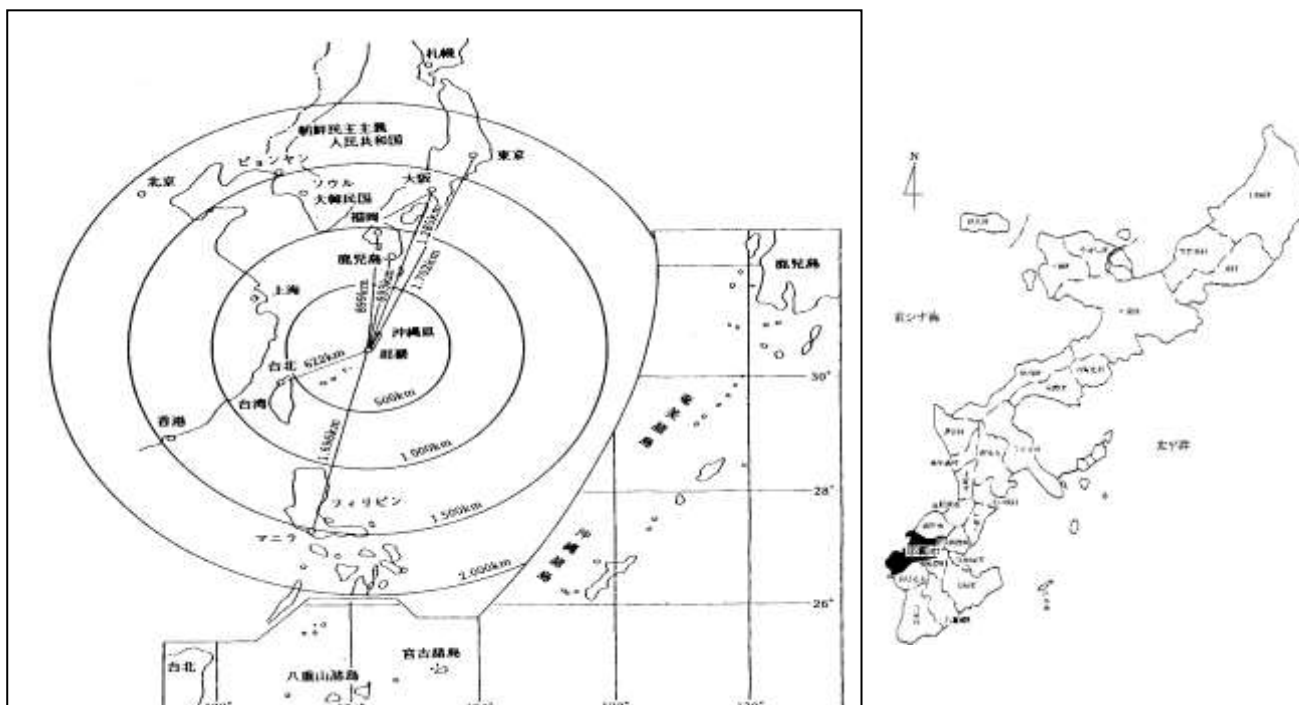


図 1-1.2 位置図 各都市との距離、沖縄本島

表 1-1 面積

沖縄県総面積	2,282.17 km ²	全国 47 都道県中 44 位(令和 5 年 4 月 1 日現在)
沖縄島	1,208.44 km ²	日本の島面積第 7 位(令和 5 年 4 月 1 日現在)
那覇市面積	41.42 km ²	令和元年 12 月 26 日埋立による増

資料 国土交通省 国土地理院「令和5年全国都道府県市町村別面積調」(第II章都道府県別面積、付4)

「第 62 回令和 4 年度版那覇市統計書」(2. 那覇市の面積)

市域の西側に商業地が集積し、東側は住宅や緑地が多くなっています。
商業地の多くが道路沿いに線状に分布しています。

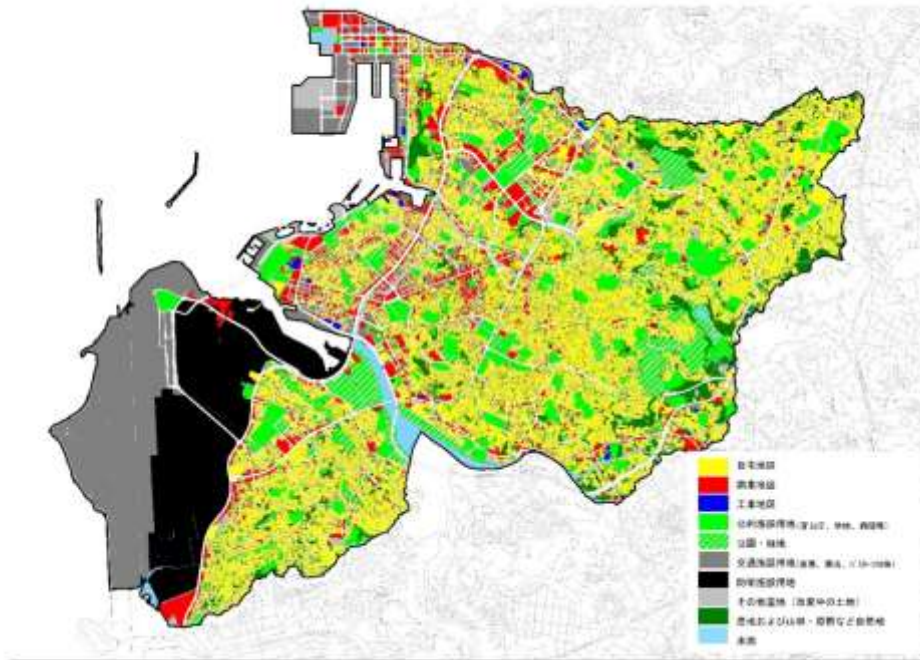


図 1-3 那覇市土地利用現況図 「都市計画基礎調査 2017 (H29) 年度」より作成

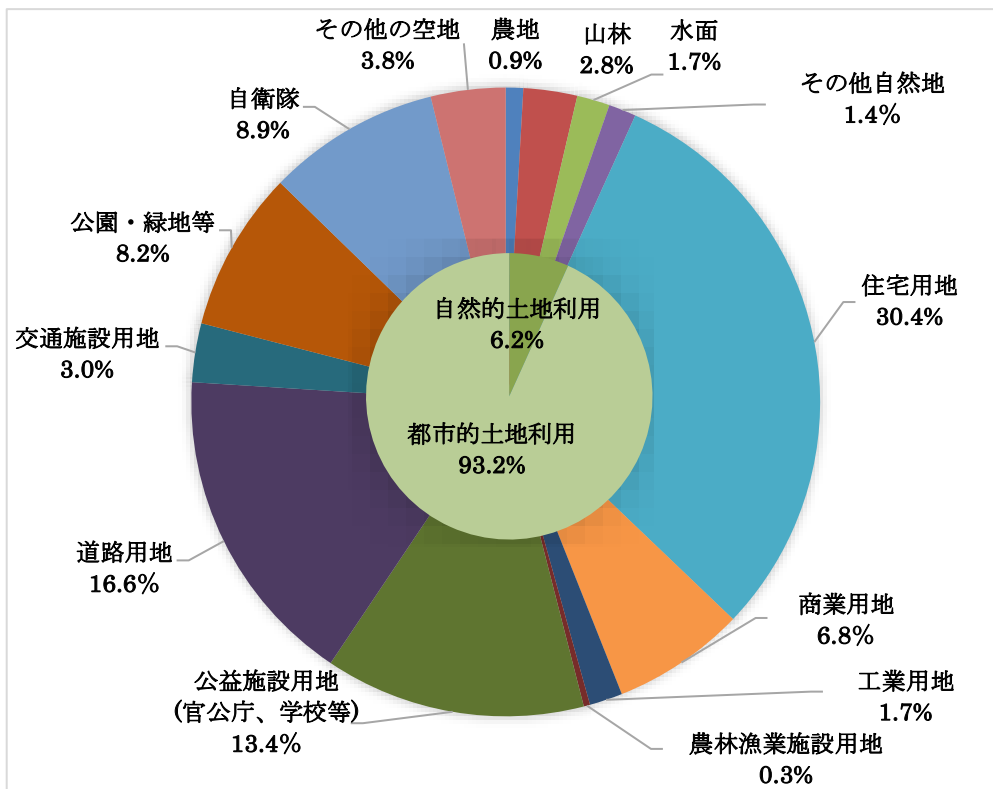


図 1-4 土地利用面積割合 「都市計画基礎調査 2017 (H29) 年度」より作成

2 地勢と地質

本市は、西方に東シナ海を擁し、南北及び東の三方は、他の市町村と隣接します。地形は、旧市内を中心とする中央部においてほぼ平坦をなし、これを取り巻くように周辺部には小高い丘陵地帯が展開します。また、市内を東から西に国場川と安里川、安謝川が流れ、それぞれ那覇ふ頭、泊ふ頭、新港ふ頭を経て東シナ海に注いでいます。

地質構造は、全体として北側に単純傾斜構造をなしていますが、真和志中央部においては、盆状構造の断面に似た地質構造が見られ、首里地区ではドーム型地質構造をなす地域も見られます。

また、市内にはいくつかの断層があり、その主なものに首里断層があります。それは泊、大道、首里の南側、南風原町新川を経て与那原を結ぶ線です。さらにこれから分岐して、大道、首里、西原を結ぶ線も断層となっています。

地質は、大別して第三紀中新世の島尻層、第三紀新世から第四紀洪積世にかけての琉球石灰岩及び沖積世の隆起珊瑚礁からなっていますが、旧市内においては海浜堆積物からなるところもあります。

その分布状況は、旧市街地及び首里から天久、安謝にかけての一带及び識名あたりで琉球石灰岩が露出し、その他の地域の地表面は島尻層からなっています。

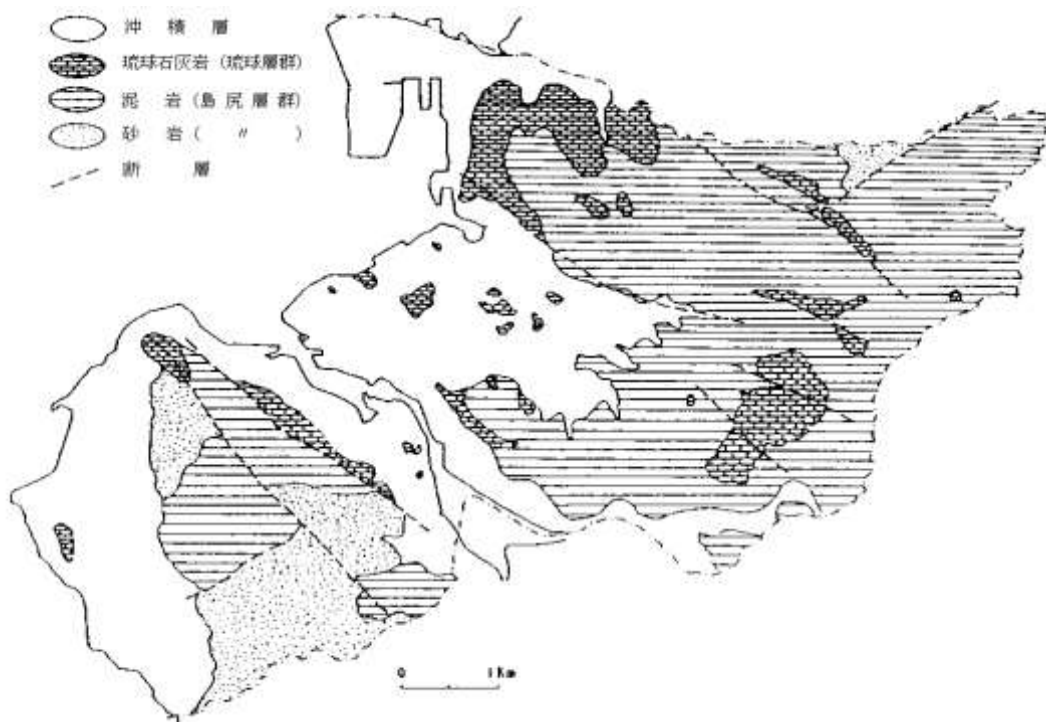


図 1-5 地表における土質分布図

出典：国土庁、沖縄県、1983年国土調査土地分類基本調査

3 気 候

亜熱帯モンスーン地帯に属する沖縄の気候は、一年を通して温暖です。春秋の特徴ははっきりしませんが、連日気温 30 度前後の蒸し暑く長い夏と平均温度 16～17 度の暖かく短い冬とに分けられます。

春から夏にかけては雨量が比較的多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって毎年数個の台風が来襲します。特に、沖縄近海が台風の進路変更点になっているため、台風通過の際長時間にわたり強風に襲われることが多いのも特徴です。平成 30 年は沖縄に通過した台風の数が平年の 2 倍以上でした。その影響もあり、平成 30 年夏（6 月～8 月）の沖縄地方の降水量は統計を開始した 1946 以来最も大きい値となりました。

本市の昭和 56 年（1981 年）～平成 22 年（2010 年）における平均気温は 23.1 度、年間降水量は 2,040.8mm。地球温暖化の影響で長期的には 100 年あたり 1.18℃の昇温となっています。

表 1-2 気象の概況

年 次	気 温 (°C)			平均湿度 (%)	年間降雨量 (mm)	台風数(那覇市から 300km 以内通過)
	平 均	最 高	最 低			
平成 21 年	23.4	34.6	9.3	72	1,864	2
平成 22 年	23.1	33.2	9.1	74	2,895	4
平成 23 年	22.9	32.9	8.7	75	2,122	4
平成 24 年	23.0	33.3	11.6	74	2,733	8
平成 25 年	23.3	34.8	10.3	73	2,071	6
平成 26 年	23.1	33.9	10.6	73	2,584.5	6
平成 27 年	23.6	33.8	9.6	73	1,425	4
平成 28 年	24.1	33.9	6.1	74	2,368	3
平成 29 年	23.6	35.1	10.7	71	1,907	2
平成 30 年	23.5	33.1	9.3	74	2,469.5	9
平成 31・令和元年	23.9	33.9	12.0	77	2,637.5	3
令和 2 年	23.8	34.7	10.6	77	2,481.0	3
令和 3 年	23.6	33.5	9.7	77	2,485.5	5
令和 4 年	23.7	33.8	11.7	80	2,996.5	3

資料 沖縄気象台「沖縄地方顕著現象報告（第 51 号）」（資料 1. 台風の統計）
「統計那覇 令和 5 年 5 月 No.186」（32. 気象）

4 人 口

本市の人口は平成 27 年をピークに減少傾向、世帯数は増加傾向にあり、核家族化が進行しています。

表 1-3 那覇市の世帯数と人口

各年 12 月 31 日現在

年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
人 口 (人)	324,169	324,157	323,290	322,624	322,011	320,467	318,339	317,030
世帯数(世帯)	147,206	149,274	150,658	152,423	154,537	155,472	156,309	158,212

資料：「第 62 回令和 4 年度版 那覇市統計書」(32. 住民基本台帳人口)